

実施状況等報告書

令和 6 年 6 月 30 日

三重県知事あて

住 所 : 奈良県桜井市戒重137番地
商号又は名称 : 西垣林業フォレスト株式会社
代表者 氏名 : 横谷 圭二

「育成を図る林業経営体の選定要領」第10の規定に基づき、実施状況等を報告します。

1. 基本情報 (※変更がある場合に記入してください)

商号又は名称		代表者氏名		主たる事務所の所在地		電話及びFAX番号		E-mail		ホームページ等URL		認定事業主					
						電話 FAX											
組織形態				設立年月日				事業の種類									
会社		協同組合等		森林組合		個人事業主		その他		造林		素材生産		製材		その他	
								()		年 月 日 設立						()	

報告履歴

	報告年月日
1年目	R2. 6. 22
2年目	R3. 6. 22
3年目	R4. 6. 30
4年目	R5. 6. 30
5年目	R6. 6. 30

※毎年度記載してください

資本金(出資金)

千円

【申請内容の変更の有無】 (有り ・ 無し) ※どちらかを囲んでください

※申請内容に変更がある場合は、変更の内容及びその理由について記載してください。

1年目 (R1年)	変更の内容 ①作業道作設用のバックホウ1台を伐倒木の集材が可能なザウルスロボ使用に変更、②現場作業職員数の常用職員数を変更 変更の理由 ①作業道作設業務の効率性向上のため、②嘱託職員を常用職員と判断したため
2年目 (R2年)	変更の内容 変更の理由
3年目 (R3年)	変更の内容 変更の理由
4年目 (R4年)	変更の内容 変更の理由
5年目 (〇年)	変更の内容 変更の理由

以下は、毎年度の状況等について記入してください。(1年目以降は、前年度のものに追加して記入してください。)

2. 雇用の状況

	現場作業職員数 (うち常用)	事務系等職員数 (うち常用)	雇用管理者の 選任の有無	雇用に関する 文書交付の有無	現場作業職員の社会・労働保険等への加入状況					
					労災保険	労災保険料率	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	退職金共済等
申請時	9 人 (9 人)	人 (人)	有	有	9 人	6 %	9 人	9 人	9 人	7 人
5年後の見込み	12 人 (12 人)		有	有	12 人		12 人	12 人	12 人	12 人
1年目 (R1年)	10 人 (10 人)		有	有	10 人		10 人	10 人	10 人	7 人
2年目 (R2年)	11 人 (11 人)		有	有	11 人		11 人	11 人	11 人	8 人
3年目 (R3年)	9 人 (9 人)		有	有	9 人		9 人	9 人	9 人	8 人
4年目 (R4年)	13 人 (13 人)		有	有	13 人		13 人	13 人	13 人	12 人
5年目 (R5年)	17 人 (17 人)		有	有	17 人		15 人	15 人	15 人	13 人

3. 技術者・技能者の数

	みえ森林・林業アカデミー修了者			フォレスト ワーカー	フォレスト リーダー	フォレスト マネージャー	森林施業 プランナー	森林作業道設 オペレーター	技術士	技能士	林業技士	フォレスター (森林総合監理士)	林業架線作業主 任者免許取得者	その他 ()
	ディレクター	マネージャー	プレーヤー											
申請時	人	人	人	2 人	0 人	0 人	人	1 人	人	人	人	人	0 人	人
5年後の見込み	人	人	人	8 人	4 人	1 人	人	3 人	人	人	人	人	2 人	人
1年目 (R1年)	人	人	人	3 人	1 人	0 人	人	1 人	人	人	人	人	人	人
2年目 (R2年)	人	人	人	5 人	2 人	0 人	人	2 人	人	人	人	人	人	人
3年目 (R3年)	人	人	人	6 人	3 人	0 人	人	3 人	人	人	人	人	1 人	人
4年目 (R4年)	人	人	人	7 人	3 人	0 人	人	3 人	人	人	人	人	1 人	人
5年目 (R5年)	人	人	人	7 人	4 人	0 人	人	0 人	人	人	人	人	1 人	人

その他 技術的情報	申請時	1年目 (R1年)	2年目 (R2年)	3年目 (〇年)	4年目 (〇年)	5年目 (〇年)

4. 林業機械の保有状況

	グラップル	プロセッサ	ハーベスタ	フォワーダ	スイング ヤーダ	タワー ヤーダ	フェラー パンチャ	スキッダ	集材機	トラック (t)	その他 (林内車やまびこBY1201)	その他 (バックホウ)	その他 (ザウルスロボ仕様)
申請時	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	1 台	台	台
5年後の見込み	3 台	1 台	台	1 台	1 台	台	台	台	1 台	台	1 台	1 台	1 台
1年目 (R1年)	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	1 台	台	1 台
2年目 (R2年)	2 台	台	台	1 台	台	台	台	台	台	台	2 台	2 台	1 台
3年目 (R3年)	2 台	台	台	1 台	台	台	台	台	台	台	3 台	2 台	1 台
4年目 (R4年)	3 台	台	台	1 台	台	台	台	台	台	台	4 台	4 台	1 台
5年目 (R5年)	3 台	台	台	1 台	台	台	台	台	1 台	台	2 台	4 台	台

5. 事業量等（生産量の増加又は生産性の向上等）

事業期間 【基準（申請直近の事業年度）：平成 31 年 1 月 1 日～令和 元 年 10 月 31 日】
【目標（5年後の事業年度）：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日】

年度	事業区分	素材生産									造林・保育			左記以外の林業の事業量 () ()	事業区域
		主 伐				間 伐				材積計 (m3)	植付 (ha)	下刈り (ha)	その他 ()		
		指標	面積 (ha)	材積 (m3)	雇用量 (人)	生産性 (m3/人日)	面積 (ha)	材積 (m3)	雇用量 (人)						
(基準)申請直近年	直営					10.00	160	70	2.3	160					愛知 県 豊田 市(町)
	請負									0					
	合計	0.00	0	0		10.00	160	70		160	0.00	0.00	0.00	0.00	
(目標)5年後	直営					30.00	3,000	1,000	3.0	3,000					三重・奈良 県 名張・東吉野村市(町)
	請負									0					
	合計	0.00	0	0		30.00	3,000	1,000		3,000	0.00	0.00	0.00	0.00	
1年目 (R1年)	直営					21.00	1,970	750	2.6	1,970					愛知・奈良 県 豊田・東吉野 市(町)
	請負									0					
	合計	0.00	0	0		21.00	1,970	750		1,970	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率								15%	1131%					
2年目 (R2年)	直営					33.00	2,936	1,180	2.5	2,936					奈良 県 東吉野村・御所市(町)
	請負									0					
	合計	0.00	0	0		33.00	2,936	1,180		2,936	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率								9%	1735%					
3年目 (R3年)	直営					15.00	1,223	610	2.0	1,223					三重 県 伊賀市 津市
	請負									0					
	合計	0.00	0	0		15.00	1,223	610		1,223	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率								-12%	664%					
4年目 (R4年)	直営	0.30	27	5	5.4	8.26	792	384	2.1	819					三重 県 名張市・伊賀市 津市(町)
	請負									0					
	合計	0.30	27	5		8.26	792	384		819	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率								-10%	412%					
5年目 (R5年)	直営					18.00	954	377	2.5	954					三重 県 名張・伊賀・津市(町)
	請負									0					
	合計	0.00	0	0		18.00	954	377		954	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率								11%	496%					
目標達成率									0.8	32%					

※増減率は報告年度における基準年度に対する増減率 ※生産性は材積（m3）÷雇用量（人）の値

	申請時	1年目 (R1年)	2年目 (R2年)	3年目 (R3年)	4年目 (R4年)	5年目 (〇年)
素材生産の請負がある場合、主な請負業者名を記載						
造林の請負がある場合、主な請負業者名を記載						

6. 生産管理又は流通合理化等

	①適切な生産管理			②原木の安定供給・流通合理化等			
	作業日報の作成・分析による進捗管理や工程の見直し	作業システムの改善	その他（ ）	製材工場等需要者との直接的な取引	とりまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷	森林所有者や工務店等との連携	その他（ ）
申請時	取り組んでいる	5年後に取り組む意向					
1年目（R1年）	取り組んでいる	未着手					
2年目（R2年）	取り組んでいる	取り組んでいる					
3年目（R3年）	取り組んでいる	取り組んでいる					
4年目（R4年）	取り組んでいる	取り組んでいる					
5年目（R5年）	取り組んでいる	取り組んでいる					

7. 造林・保育の省力化・低コスト化

	伐採と造林の一貫作業システムの導入	コンテナ苗等の使用	低密度植栽	下刈りの省略	その他
申請時					
1年目（R1年）					
2年目（R2年）					
3年目（R3年）					
4年目（R4年）					
5年目（R5年）					

8. 主伐後の再造林の確保

	主伐及び主伐後の再造林を、直営施業又は他者への請負により実施する体制	主伐及び主伐後の再造林を、連携する他の林業経営体と一体的に実施する体制	連携する相手等の名称	自己所有森林における主伐後の適切な更新の実施	他者所有森林での主伐にあつては、森林所有者等に対する事前の適切な更新の働きかけ	独自の行動規範等の策定・遵守	所属団体や県・市町等が策定した行動規範等の遵守
申請時						策定等している	
1年目（R1年）						策定等している	
2年目（R2年）						策定等している	
3年目（R3年）						策定等している	
4年目（R4年）						策定等している	
5年目（R5年）						策定等している	

9. 伐採・造林に関する行動規範の策定等

10. 雇用管理の改善及び労働安全対策

	①雇用管理の改善					②労働安全対策等	
	現場作業員の常用化	現場作業職員への月給制の導入	計画的な研修実施などの教育訓練の充実	社会保険・退職金共済等への加入等、	その他（ ）	現場作業職員等への安全衛生教育の実施	労働保険への加入（一人親方の特別加入を含む）
申請時	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
1年目（R1年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
2年目（R2年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
3年目（R3年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
4年目（R4年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
5年目（R5年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる

	②労働安全対策等						
	リスクアセスメント	防護具等の着用の徹底	作業現場の安全巡回	労働安全コンサルタント等専門家による安全診断・指導	その他（ ）	死亡労働災害の発生件数	現場作業職員の休業4日以上 の負傷労働災害発生件数
申請時	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	1年以内に取り組む予定			
1年目（R1年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	未着手		0	0
2年目（R2年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	0
3年目（R3年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	1
4年目（R4年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	3
5年目（R5年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	4

11. 環境への配慮

	環境に配慮した取組	左記の具体的な取組内容	12. 人材の育成 計画的な技術者の育成等 に対する取組	左記の具体的な取組内容
申請時	取り組んでいる	社有林は荒廃することの無いよう間伐し出材・間伐時谷に入った材は取り除くようにしている。また、広葉樹はできるだけ残すように施業している。	取り組んでいる	フォレストワーカー研修に参加し山林業務の知識を学ぶとともに社有林にてOJTにより計画的に技術者を育成する取り組みを行っている。
1年目（R1年）	取り組んでいる	谷の中に入った材は取り除いている。	取り組んでいる	FW研修6名・FL研修1名参加
2年目（R2年）	取り組んでいる	風（台風等）の事も考え選木し間伐している	取り組んでいる	FW研修5名参加
3年目（R3年）	取り組んでいる	植林を行った	取り組んでいる	F W研修5名参加
4年目（R4年）	取り組んでいる	風（台風等）の事も考え選木し間伐している	取り組んでいる	F W研修2名参加
5年目（R5年）	取り組んでいる	谷の中に入った材は取り除いている。	取り組んでいる	F W研修5名参加

13. それぞれの取り組みにあたっての課題、今後の対応方針等について記載してください。

1年目（R1年）	労働安全コンサルタント等専門家による安全診断・指導が未着手の為、早急に実施し作業員の安全意識を向上させ労働災害を防止する。
2年目（R2年）	労働安全コンサルタントによる安全診断・指導を受け作業員の安全意識が向上したが、今後も労働災害ゼロを目指す。
3年目（R3年）	労働災害ゼロを目指して取組んでいたが、労働災害が起こってしまい、今後の対応は作業員の安全の意識を高める為に安全コンサルタントによる講義を受けたいと思います。
4年目（R4年）	労働災害ゼロを目指し作業員の安全意識向上の為、安全講習等を強化、今後はフォレスト全社にて安全衛生委員会を月1回開催する。
5年目（R5年）	今後も労働災害ゼロを目指し、安全講習・安全衛生委員会を確実に実施し、作成した安全教育カリキュラムを活用する。